

羊ヶ丘スラローム

ニュース 2026 年 2 月 1 日発行



2 月例会は 10 日（火）モイワ半日例会、
20-21（金土）カムイお泊まり例会です



私の趣味コーナー

時代小説にはまっています

升田樹理

ずっと趣味は読書でしたが、最近は時代小説にはまっています。理由はちょっと寂しいですが、文庫の新刊が多くて、買いやすいからのように思います。また作家さんも女性が多く、剣術物から暮らしのあれこれと多彩になり、ジェンダー平等のうねりも加わり、町人の女性の暮らしや生き方が描かれていて、わかりやすい。描かれる時代も戦国時代が多かったが、最近は江戸時代ちょうど大河ドラマの蔦十が活躍する田沼意次や松平定信の時代。手打ちそば ウナギのかば焼き 天ぷら サツマイモなどが出てき始めたころ。着物も現代の浴衣や江戸小紋などが好んで着られるようになった。そんなことを考えて本を読み終え、たまたま入った物産展で、江戸小紋を目にしたとき、到底手に入るものではないがその素晴らしい仕事にとっても幸せな気分になれるのです。

手稲例会（1月18日）

小島まゆみ

「私の右膝は一日持ち堪えてくれるのだろうか？」「皆さんに迷惑をかけるのでは・・・」

そんな不安が頭から離れず前夜はよく眠れませんでした。参加者は10名。うち1名は斉藤さんの友人でポーランド人の「ベロニカさん」でした。

日本に来て3年とのことでしたが、日本語がペラペラではなかった。

基礎スキーというより、どんなコースも難なくこなす弾丸タイプで、シニア軍団と一緒に物足りなかったのではないだろうか。

午前の一本目は、野尻指導員の講習で、今シーズンの課題である

① 伸展加圧 ② 3 関節の平行移動（足首・膝・股関節）

③ 迎え角の実習でした。

それぞれをスキー操作に連動させることで、身体や膝にかかる負担が少なくなるのではないかと私はとらえました。この問題は私自身に大きく影響することで、今後も意識して滑りたいと思いました。その後頂上に向かいましたが、足元は無圧雪のモコモコ雪、次第にガスで視界も悪くなったので、安全確保のため迂回し下まで降りました。

昼食後はオリンピックアに移動。ハイランド頂上とは打って変わって晴れわたった空のもと気持ちよく滑ることができました。そのころにはすでに講習で学んだことは頭になく、いつもの自分の滑りを楽しんでおりました。

気がつけば、脚のハリも膝の痛みもありませんでした。要はオリンピックアコースが私にとって丁度いいのかななんて思っております。

シーズン最中、無理なく、怪我無く、力まずに楽しく滑りたいと思います。（参加者 9 名＋1 名）